

2021年3月期 決算説明資料

ジオマテック株式会社
create coating solutions

2021年 5月14日

2021年3月期業績結果について

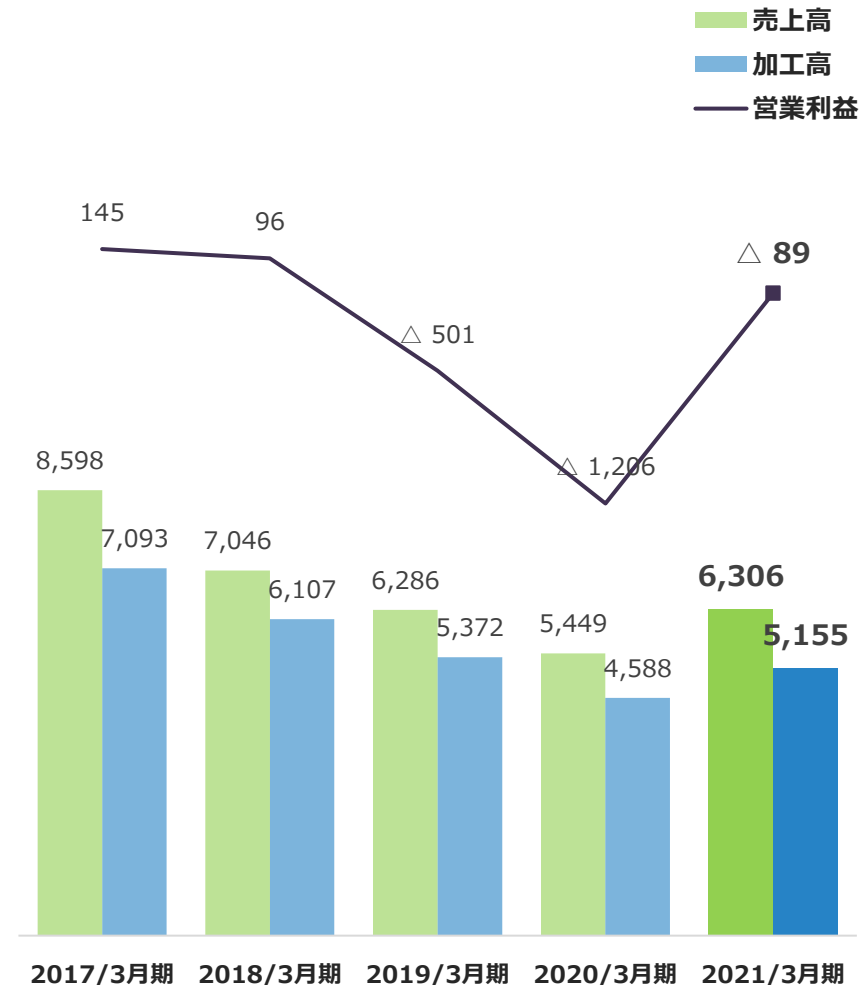
2021年3月期決算概要《連結》

連結損益計算書

売上高	6,306 百万円
営業利益	△ 89 百万円
経常利益	△ 17 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 701 百万円

単位：百万円	2021年 3月期	2020年 3月期	前期比	計画比
売上高	6,306	5,449	116%	136
売上総利益	1,390	476	292%	130
販売管理費	1,480	1,683	88%	△ 30
営業利益	△ 89	△ 1,206	-	161
経常利益	△ 17	△ 1,159	-	203
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 701	△ 3,511	-	219
EBITDA	47	△ 909	-	-
1株当たり 当期純利益（円）	△ 88.63	△ 443.94	-	27.67
研究開発費	274	381	72%	△ 26
設備投資額	879	572	154%	△ 71
減価償却費	136	296	46%	△ 44
加工高	5,155	4,588	112%	125

売上高・加工高・営業利益



※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上（付加価値収入）のことです。
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

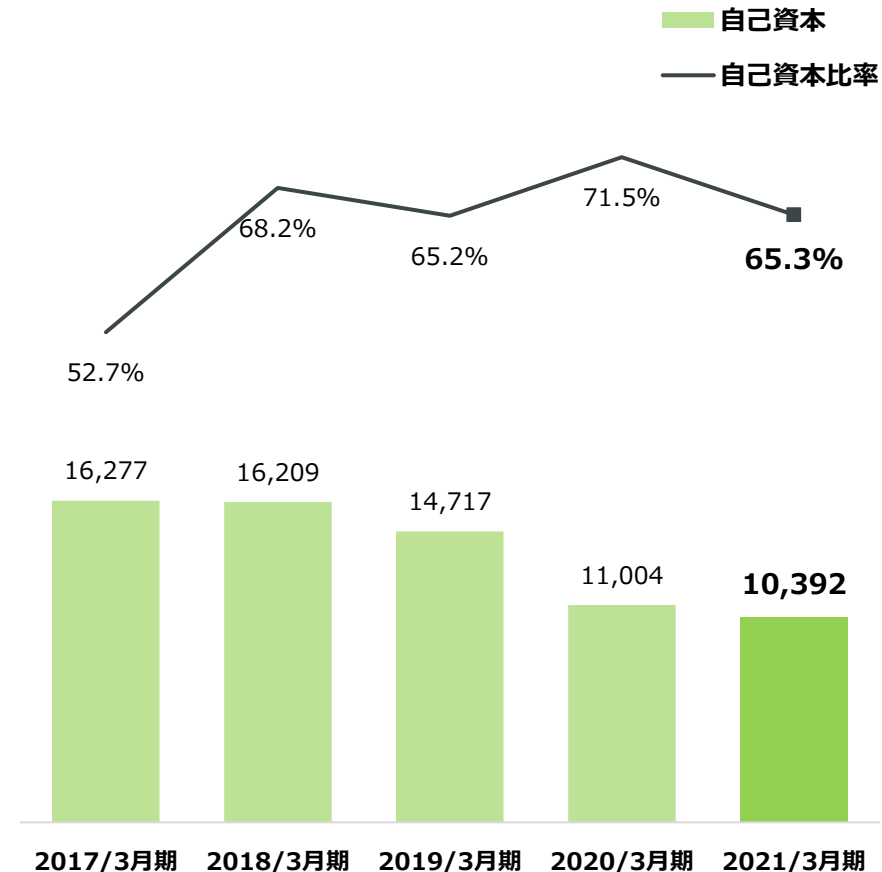
2021年3月期決算概要《連結》

連結貸借対照表

総資産	15,913	百万円
負債合計	5,520	百万円
純資産合計	10,392	百万円

単位：百万円	2021年 3月期	2020年 3月期	前期比
流動資産	11,710	12,239	△ 529
現金・預金	6,127	7,599	△ 1,472
受取手形・売掛金	4,139	2,831	1,308
固定資産	4,202	3,150	1,052
有形固定資産	1,831	1,756	75
負債	5,520	4,386	1,134
支払手形・買掛金	2,771	1,949	822
借入金等	1,791	1,313	478
純資産	10,392	11,004	△ 612
総資産	15,913	15,390	523
自己資本比率	65.3%	71.5%	△ 6.2
1株あたり純資産（円）	1,313.85	1,391.19	△ 77.34

自己資本、自己資本比率

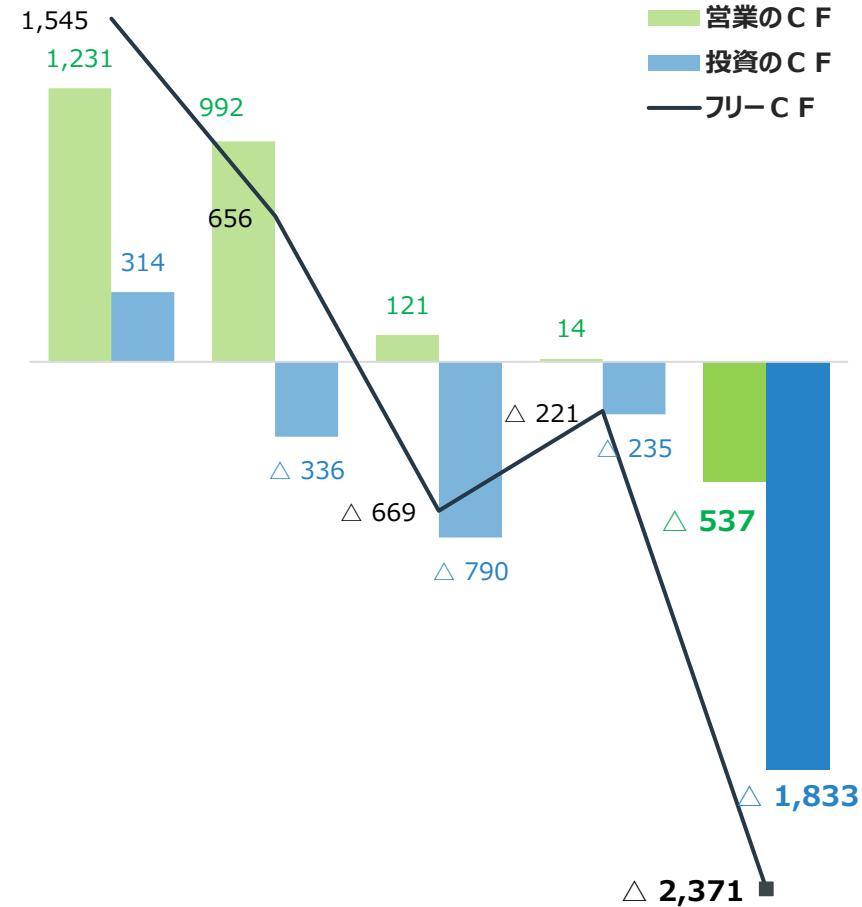


2021年3月期決算概要《連結》

キャッシュフロー概要

単位：百万円	2021年 3月期	2020年 3月期	前期比
営業活動によるCF	△ 537	14	△ 551
税引前当期純利益	△ 687	△ 3,498	2,811
減価償却費	136	296	△ 160
その他	13	3,216	△ 3,203
投資活動によるCF	△ 1,733	△ 235	△ 1,498
固定資産の取得	△ 901	△ 639	△ 262
その他	△ 832	404	△ 1,236
財務活動によるCF	475	△ 392	867
借入金の借入・返済	478	△ 272	750
その他	△ 2	△ 120	118
現金等に係る換算差額	23	△ 23	46
現金等の期末残高	6,127	7,899	△ 1,772
フリーキャッシュフロー	△ 2,270	△ 221	△ 2,049
NET CASH	4,336	6,586	△ 2,250

営業CF、投資CF、フリーCF



2017/3月期 2018/3月期 2019/3月期 2020/3月期 2021/3月期

特別損失

□ 固定資産の減損損失

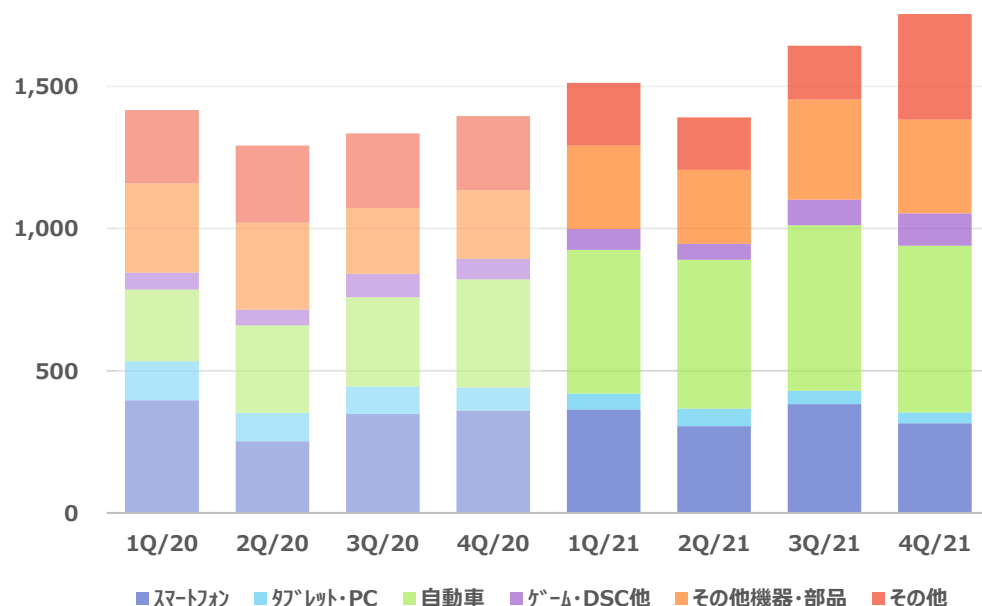
・減損処理額 **683 百万円**

用途	場所	種類	減損損失
製造設備	当社金成工場（宮城県栗原市） 当社赤穂工場（兵庫県赤穂市）	機械装置及び建設仮勘定等	269 百万円
製造設備	吉奥馬科技（無錫）有限公司 本社工場 （中国江蘇省無錫市）	建物および機械装置等	349 百万円
共用資産	当社R&Dセンター（東京都大田区）他	器具備品及び建設仮勘定等	63 百万円

・処理理由 **事業環境の変化に伴い収益性低下が継続していることから、減損処理を実施**

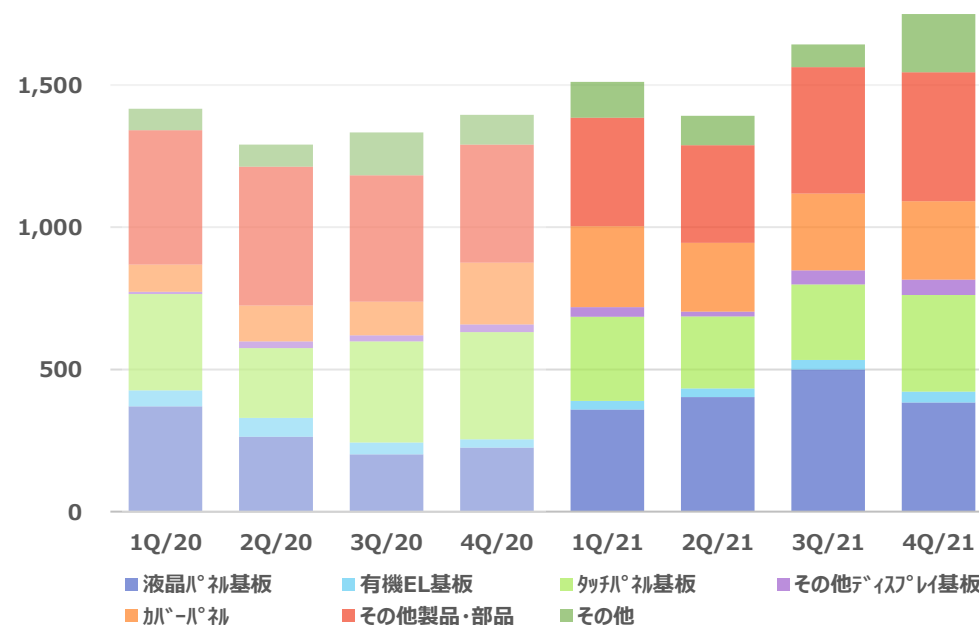
最終製品別売上高推移

単位：百万円



品目別売上高推移

単位：百万円



製品概況

液晶パネル基板
タッチパネル基板
カバーパネル
その他製品・部品

(前期比155%)
(前期比88%)
(前期比193%)
(前期比89%)

自動車向け増加
スマートフォン向け減少
自動車向け増加
プロジェクター、照明機器向け減少

2022年3月期業績見通しについて

2022年3月期 業績見通し ①

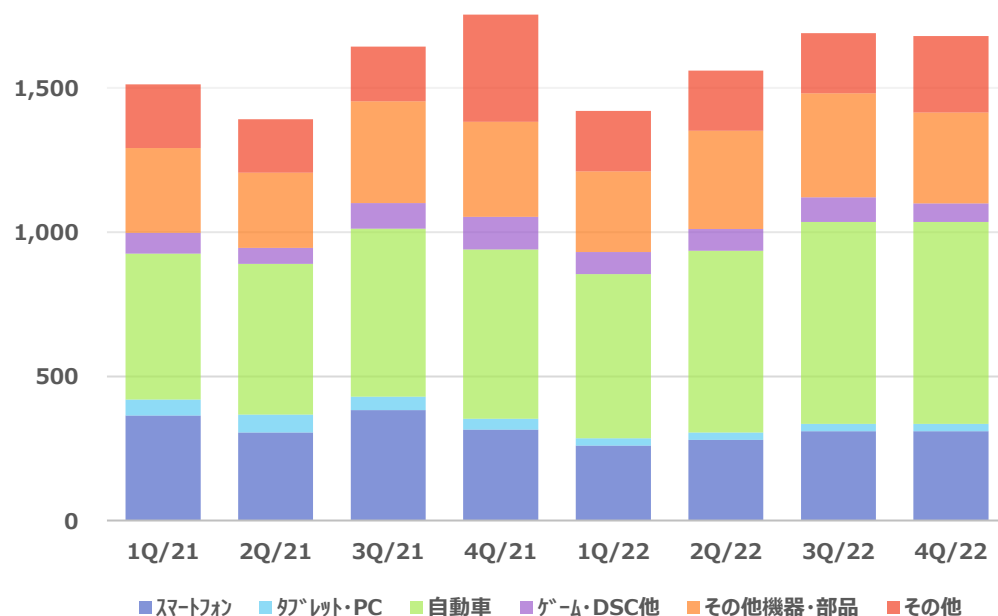
単位：百万円	2022/3					2021/3
	通期計画	H 1 計画	H 2 計画	前期比		実績
				増減額	増減率	
売上高	6,350	2,980	3,370	44	0.7%	6,306
営業利益	10	△ 20	30	99	-	△ 89
営業利益率	0.2%	△ 0.7%	0.9%	-	-	△ 1.4%
経常利益	50	5	45	67	-	△ 17
親会社株主に帰属する 当期純利益	36	△ 2	38	737	-	△ 701

加工高	5,280	2,530	2,750	125	2.4%	5,155
研究開発費	350	-	-	76	27.7%	274
設備投資額	1,200	-	-	321	36.5%	879
減価償却費	280	-	-	144	105.9%	136

2022年3月期 業績見通し ②

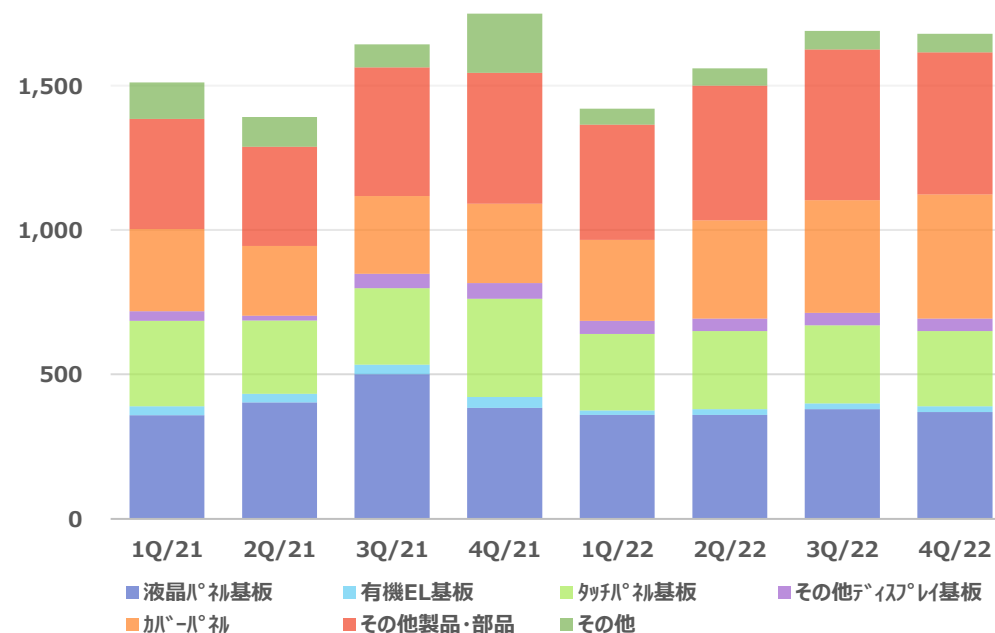
最終製品別売上高推移

単位：百万円



品目別売上高推移

単位：百万円



製品概況

液晶パネル基板	(前期比89比%)	スマートフォン向け減少
タッチパネル基板	(前期比92%)	スマートフォン向け減少
カバーパネル	(前期比134%)	自動車向け増加
その他製品・部品	(前期比116%)	電気機器部品向け等増加

① 成膜加工 Q C D T（quality、cost、delivery、technology）の更なる強化

当社グループの基幹事業である真空成膜業界における、有望市場の変遷やサプライチェーンの垂直統合及び地理的再編による競合環境の変化に対応すべく、成膜専門メーカーとしての Q C D T 強化を図ってまいります。

- ・モノづくり戦略の抜本的な見直しとして、最適な拠点での製造を実施するとともに、設備使用効率の改善、自動化及び I T 化による工程作業効率の改善、また、品質ロスコストの低減により、生産性の向上に取り組んでおります。
- ・受託加工での需給変動に柔軟に対応すべく、顧客との先行情報共有や自社内プロセス短縮に加えて、調達や加工工程の複線化にも取り組んでおります。
- ・商材カテゴリー毎に細分化した、製造・販売・技術横断的なタスクフォースを展開して、商材単位での競争力向上を進めております。

② 特定市場への過度な依存からの脱皮

従来の当社主力製品が関連する中小型 F P D 市場では、事業の主軸でありましたスマートフォン市場での液晶パネル関連需要の減速と有機 E L パネルへの移行が加速しているため、特定市場への依存偏重から脱皮し成長分野への事業領域拡張を図ってまいります。

- ・成長性を見込む対象市場を、ディスプレイ・モビリティ・半導体及び電子部品関連の 3 分野に設定して分野別対応策や体制再編を段階的に実行することにより、事業及び商材ポートフォリオの転換に取り組んでおります。
- ・研究開発部門では先行技術の開発に、製造技術部門では既存技術の応用や製法の多角化に各々注力すると同時に、相互連携を強化して成長を支えるコア技術の創出に取り組んでおります。
- ・これまでの部分工程受託で培った、技術や製造ノウハウ・装置調整や工程及び設備設計といった「匠」のコンサルティングも事業商材と位置付け、協業も積極的に活用することで新たなビジネスモデルの拡張に取り組んでおります。

③ 経営体質の更なる強化

上述のような、事業力強化への直接的な取り組みと同時に、経営体質の改善を図ってまいります。

- ・中期視点での削減目標を指標とした販売管理費のムダ取りと投資回収の可視化により、経営効果ある支出管理の徹底に取り組んでおります。
- ・「2025年の崖」リスクの回避に向け、基幹 I T システムの置換と併せて各種データのデジタル化及び共有活用と B I 化を進めると共に、関連業務自体の見直しにも取り組んでおります。
- ・また、前述の全ての対策効果を最大化するために、現場での意識改革を主眼とする全従業員参加型の企業風土改革プロジェクトを並行して推進しております。

- ・ **情報提供の目的**

当サイトの目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載されている情報は、インターネット上で簡便にご参照いただくために作成されたものです。当社は細心の注意を払っておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当サイトのご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

- ・ **将来予測に関する考え方**

当サイトに掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。

- ・ **投資判断に対する考え方**

投資に関する最終的なご決定は、当サイトの情報に全面的に依存することはお控え頂き、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。

- ・ **情報内容変更等の可能性**

当サイトまたは当サイト上のコンテンツは、予告なく変更、修正、削除、中断することがあります。当社は、サイトに掲載された情報を更新する義務を負うものではなく、その約束をするものではありません。当サイトのいかなる情報についても、常に最新情報に反映されるものでないことをご了承ください。